

薩摩川内市民憲章 (平成17年1月1日制定)

美しい自然と、古い歴史を誇りとする
わたしたち薩摩川内市民は、
やさしくすれば、心はかよう。
はなしをすれば、だれでもわかる。
考えさえすれば、みちはひらける。
やりさえすれば、かならずできる。
という信条をもって
明るく豊かなまちをつくります。

市の木・花・鳥・魚 (平成17年2月13日制定)



市木 / クロガネモチ



市花 / カノコユリ



市鳥 / メジロ



市魚(川) / アユ



市魚(海) / キビナゴ

「人と地域が躍動し 安心と 活力のあるまち 薩摩川内」を目指して

平成16年10月に薩摩川内市が誕生し、早くも10年が経過いたしました。
この間、地域の格差解消や一体感の醸成のための施策を積極的に展開し、市内各地において地区コミュニティ協議会を中心に活発な地域活動が展開されるようになりました。また、九州新幹線の全線開業や南九州西回り自動車道の整備促進のほか、合併以来、長年の悲願であった川内港と甌島を結ぶ高速船「甌島」の就航が実現するなど、本市のまちづくりを取り巻く環境も大きく変化いたしました。

一方、少子・高齢化の進行や人口減少社会の到来、財政運営など市政運営につきましても、より厳しさを増しており、市民の皆様と一丸となって課題解決を図っていく必要があります。

今回策定した第2次薩摩川内市総合計画では、「安全・安心」、「活力」、「共生」、「行財政」の4つの柱を基本理念に掲げ、持続可能なまちづくりをキーワードに、「人と地域が躍動し 安心と活力のあるまち 薩摩川内」を将来都市像として定めたところであります。

これからの10年は、地域の抱える様々な課題について、地域や市民、団体、事業者など皆様の衆知を結集し、連携を深めながら果敢に挑戦していくことが将来都市像の実現につながると考えております。

このため、地域の強み・弱みを踏まえながら最大限の効果が創出できるよう全力を傾注して参ります。

最後に、この総合計画の策定に当たり、貴重なご意見やご提言をいただきました市民並びに市議会の皆様をはじめ、熱心にご審議いただきました自治総合審議会委員の皆様、関係各位に対しまして、心から感謝申し上げます。

平成27年3月

薩摩川内市長 **岩切 秀雄**

